

キャラクター名 終里 カブト	プレイヤー名
-------------------	--------

シンドローム	ソラリス ブラム=ストーカー		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	忘却	衝動	殺戮		初期侵食率	35 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	純粋培養	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	2	1	0	1		4	戦闘移動	13
社会	3	0	0			3	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	3		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アポフィスの蛇輪	RC	9r+4				5使用后 [1+3+4] 侵5 邪毒Lv5付与 判定ダイス-5個
L100↑	RC	10r+4				邪毒Lv6付与 判定ダイス-6個
キリング・オシリス	RC	10r+4				5使用后 [1+3+4+6] 100↑ 侵9 邪毒Lv8付与 判定ダイス-8個

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:UGN幹部		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス消費
		Dロイス"複製体(デュプリケイト)"	P	N	
		"功罪証左"イグの聖なる子ら	P 同情	N 憐憫	
		テレーズ・ブルム	P 尊敬	N 恐怖	
		"ライトコングホルト"麗性歌夫(まりゅう・こうや)	P 友情	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	6	残り財産P:	5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	自身	対決	-	
効果: クリティカル値を-LV								
加速装置	2	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 対象の【行動値】を+[Lv×4]								
蝕む赤	5	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 射撃攻撃。対象に邪毒付与								
茨の輪	5	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 射撃攻撃。あらゆる判定のダイス-Lv個。								
ブラッドコントロール	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: ブラム=ストーカーの判定のダイス+Lv								
オーバードーズ	1	4	メジャー	-	-	-	100%↑	
効果: 組み合わせたエフェクトすべてをLv+2								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

おわり -/複製序列[削除済み]
 イメージBGM:ヘドニストの幸福な食卓

【キャラ詳細】
 漢字表記は終里 兜。
 N市の高校に通う高校二年生。部活はなんとなく化学部に入っている。
 学校も部活もサボりがちだが、なんとか最低限の出席と成績を保ち在学し続けている。
 俗に言う不良の類いではあるが、基本的に体育館倉庫で寝ていたりといった感じのゆるーいタイプ。
 よく猫と遊んでいるところを目撃される。寝起きが悪い。

一見普通の人間にしか見えないが、実はUGNのとある計画によって生産された第×××番目の完成体。
 計画によって正しく完成したと言えるのは彼のみであり、それ以外の生産されたもの達は各々不完全な肉ではない。
 自らの性能と能力を良く把握し、体内で生成した猛毒を自身の血液に混ぜて操り、相手を蝕むという戦い方をする。しかし、彼は自身が「なぜこんなに自分のことを理解しているのか」を覚えていない。何故か記憶に存在する、奇妙な空白があるのだ。
 間違ひようもなく大量殺戮が可能な「兵器」として生み出されたモノであり、実際にそういった任務を経験したこともある。
 年齢に相応しい倫理観など初めから持ち合わせておらず、誰かの説く正しさなど偽りでしかないことを絶望的に理解している。

——だが、彼は創られた。
 レネゲイトなど存在しない、この世にそんなものは存在しないという『美しい偽り』を守るために。
 故に彼は戦う。それが例え無意味で無価値なものだったとしても。
 自分の存在の理由など、それ以外にないのだから。